

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 21 No.8 2019年4月30日

製品・サービス動向-国内

■ロジクール：パッケージとロゴをリニューアルしたウェブカメラを7製品発売、個人ユースからテレワーク、そしてストリーマーまで幅広いユーザーに訴求

(記者発表会：4月25日)

株式会社ロジクール (<https://www.logicool.co.jp/ja-jp>) (東京都港区) は、ウェブカメラを7製品(6製品+1製品のバリエーション違い)、4月25日より全国の家電量販店およびオンラインサイトで販売開始する。同社はこれに合わせて都内にて記者発表会を開催した。



今回発表された WEB カメラ 7 製品

今回発表された7製品は、「MeetUp」や「Rally」、「GROUP」など同社の会議用カメラのラインナップとは異なり、基本的にはパーソナル向けの領域の製品となる。

ビデオ通話など自宅・ビジネスユーザーに最適な4モデル(C270n・C310n・C525n・C615n)から、Youtuber/ストリーマーに最適な3モデル(C920n・C920s・C922n)と同社では特に人気のあるWebカメラ。

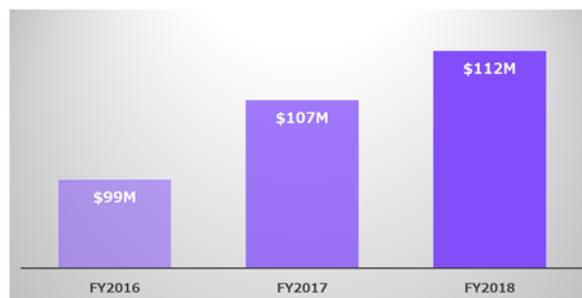
今回の製品発売のポイントは、パッケージとロゴをリニューアルしたということになる。店頭でわかりやすいようにというのが狙いだ。

「Webカメラはコミュニケーションツール。シンプルで簡単、スムーズなコミュニケーションが行えるのが重要だ。」(ロジクール クラスターカテゴリーマネージャー 室井 崇裕 氏)。

ロジクールでは、同社が1999年、「QuickCam Express」のWebカメラを発売して以来、あたかも対面しているかのような同室感を実現するために、カメラレンズの製造工程も含め製品品質には開発段階からかなりこだわっている。それは、同社が近年力を入れている会議用カメラでも今回発表されたWebカメラでも一貫して変わらない。

「世間では、テレワークや働き方改革によるワークスタイルの変化が広く社会で見られるようになってきたとともに、オリジナルコンテンツを制作したり共有したりする文化も広がってきている。そういったことを反映して世界的に当社のWebカメラビジネスは年々拡大しており、Webカメラ製品は国内外でシェアNo.1となっている。」(同 室井 氏)

成長し続けるLOGITECHのWEBカメラビジネス



* LOGITECH SUPPLEMENTAL FINANCIAL INFORMATION Q4 FISCAL YEAR 2018 (QUARTER ENDED MAR 31, 2018) In \$ millions

同社のWEBカメラビジネス (ロジクール)

だが、ユーザーからは、外付けのカメラと内蔵カメラの違いや、一眼レフカメラとWebカメラの比較と

いった点での問い合わせも受けるという。

それに対してロジクールは、「内蔵カメラは外付けに比べ画質に見劣りするところがあるということと、一眼レフを Web カメラ替わりにつかうと、別途、マイクやスピーカーなど用意する必要もあり、セットアップや操作上煩雑である面は否めない。一方、Web カメラであれば USB 一本をパソコンに接続するだけですぐに高品質な配信が始められる利点がある。」(ロジクール) と外付けカメラの優位性を指摘する。

ロジクール WEBカメラ ラインナップ

製品 単体価格	ご自宅・ビジネスユーザーに最適!				Youtuber/ストリーマーに最適!		
	HD				フルHD		
	C270n ¥2,130	C310n ¥3,880	C525n ¥5,350	C615n ¥6,750	C920n ¥11,380	C920s ¥11,500	C922n ¥13,500
解像度	720p/30fps	720p/30fps	720p/30fps	1080p/30fps	1080p/30fps 720p/30fps	1080p/30fps 720p/30fps	1080p/30fps 720p/60fps
フォーカス	固定	固定	固定	自動	自動	自動	自動
レンズ	標準	標準	標準	ガラスレンズ	フルHDガラス	フルHDガラス	フルHDガラス
視野	60°	60°	69°	78°	78°	78°	78°
マイク	モノラル	モノラル	モノラル	モノラル	ステレオ	ステレオ	ステレオ
その他			360°回転カメラ	360°回転カメラ		プロバイザーシャッター機能	三脚付属

今回発表のロジクール WEB カメララインナップ

(ロジクール)

さて、今回発表の製品の主な仕様を簡単に見てみよう。

まず、自宅・ビジネスユーザーに最適な 3 モデル (C270n・C310n・C525n) では、固定フォーカスの標準レンズを搭載し、視野角は 60° もしくは 69°、音声はモノラルだが、解像度は 720p30fps をサポートしており、個人使用やテレワークでのテレビ電話/テレビ会議の用途にも適している。しかも価格も 2,000 円程度といった気軽に買える価格帯からとなっている。

一方、4 モデル (C615n・C920n・C920s・C922n) は、Youtuber/ストリーマーに最適化されている製品となる。C920n 以上は 1 万円を超える価格帯になっており、その中で「C922n Pro Stream WebCam」がハイエンドという位置づけだ。

Youtuber/ストリーマー向けでは自動フォーカスのガラスレンズを装備。また、視野角は 78° だが、解像

度は 1080p30fps に加え、720p/30fps や 720p60fps に対応したモデルを用意する。音声はモノラルもしくはステレオ音声に対応している。

Youtuber/ストリーマーにとって、視聴者獲得や評価にも影響を与えかねない Web カメラの映像品質や音声品質は無視できない項目。そういったニーズにロジクールとして対応したのが特にこれらの 4 モデルとなる。

加えて、C922n、C920s、C920n については、「Logicool Capture」と呼ばれる動画キャプチャーソフトがセットで付く。複数の映像ソースからの録画が可能で、Facebook や Youtube、ゲーミングなどでの映像配信に便利である。映像ソースの切り替え操作のほか、キャプチャーした動画にフレームをつけるなど簡単な編集機能も具備する。

今後の展開について、C922n については Logicool Capture とセットでコミュニケーションし販売していく考えだという。三脚も付属していることを考えるとまさにストリーマーのニーズに最適化したある種パッケージ製品といえよう。Youtube などにおいて存在感のあるインフルエンサーを通して同社の Web カメラの拡販をしていく計画だ。



左から、ロジクール 室井氏、のぼしほん。の二人 (バヤシ X さん・しの丸さん)

今回の記者発表会では、お笑い芸人「のぼしほん。」(バヤシ X さん・しの丸さん) がゲスト出演。バヤシ

Xさん(上写真中央)はストリーマーとしても有名で、ロジケールのWebカメラを愛用しているという。再現性や画面の明るさ、あるいは、カメラの首振り角度といった点の良さについて2人のボケとツッコミで披露し、記者が揃った会場を和ませていた。

最近オリジナルコンテンツ配信をする個人や企業も増え、ますますカメラ製品の市場が拡大することが見込まれている。そういった中、ロジケールは、Webカメラにおいて20年の歴史を持つ定番メーカー。個人向けのWebカメラから始まり、今やストリーマーや法人向けの会議用カメラまでカメラニーズに対して幅広いラインナップを揃え、市場でのリーダーシップをさらに強化していく。

■ダイワテクニカル：企業オンプレミス向け Grandstream Networks 社製ビデオ会議サーバー「IPVT10」発売、小規模から大規模会議に対応

(取材：3月25日)

ダイワテクニカル株式会社 (<http://www.grandstream.jp>) (東京都大田区)は、Grandstream Networks 社(以下、Grandstream)製エンタープライズビデオ会議サーバー「IPVT10」を3月25日より発売する。



IPVT10によるビデオ会議システムイメージ (ダイワテクニカル)

Grandstream は、IP 電話市場で世界シェアトップスリーの一角を占める米企業。テレビ会議システムのほ

か、IP 電話機/テレビ電話機、ATA (アナログ・テレフォン・アダプタ・VoIP)、防犯カメラなどの IP 音声・映像機器をワールドワイドに開発・販売している。家庭・SOHO からオフィス・公共機関・ホテルなどまで既存のアナログ回線からの入れ替えなど、幅広く利用されている。ダイワテクニカルは、正規日本総代理店となる。

IPVT10 は、すでに販売されている Grandstream の WebRTC 対応クラウド会議サービス「IPVideo Talk」をオンプレミス環境で使用したいというエンタープライズユーザー向けに開発されたものとなる。

つまり、IPVT10 はクラウド上の IPVideoTalk ソフトウェアがアプライアンス型サーバーのような形に仕立てられている。テレビ会議システムから IP 電話までさまざまなデバイスや端末による多地点会議が行えるようになっており、画面分割レイアウト (多数のレイアウト提供されている) を使った画面共有機能を伴うテレビ会議も可能となっている。

Grandstream の テレビ 会 議 シ ス テ ム 「GVC3200/3202/3210」や IPVideoTalk アプリ (スマートフォン・タブレット)、IP 電話機はもちろんのほか、他社製テレビ会議システム (H.323/SIP 対応) からの接続、あるいは最近普及してきたブラウザベースの WebRTC にも対応している。

IPVT10 のビデオコーデックは H.264/H.265/VP8 などに対応し、解像度は 1080p/30fps もサポートしている。テレビ会議中の会議制御やチャット、録画 (500GB まで対応) に加え、会議終了後の会議レポー

ト機能（接続端末や使用状況など）も提供している。もちろん、会議予約から登録・招待・フォローアップメールまで行えるようになっている。さらにはテレビ会議の進行を Facebook や YouTube へライブ配信/放送することも可能だ。

セキュアな会議実現のためさまざまなセキュリティプロトコルもサポートしている。WebRTC には HTTPS と WSS/DTLS-SRTP 暗号化に、SIP には TLS/SRTP 暗号化にそれぞれ対応しているため安心してテレビ会議が行える。

テレビ会議の品質の面においては、最大 30%のパケットロスにも対応しており、円滑な映像と音声を維持する先進のアンチジッターアルゴリズムを装備している。

IPVT10 サーバーとしての同時接続数では、最小構成 16 地点ビデオ/参加者 35(オーディオ参加含む) から、最大構成 120 地点ビデオ/参加者 300(オーディオ参加含む) までの 6 種類のライセンスオプションから選べるようになっている。

このひとつのサーバーをひとつの会議室 (= 1 会議セッション) としても使えるし、分割して複数の会議室を並行して運用することも可能だ。しかも、最小構成からライセンス追加で段階的にスケールアップしたり、あるいは、複数の IPVT10 をつなぐカスケードにも対応しており、利用ニーズに応じて、数百以上と大規模の運用にも適した構成も組めるとしている。



レイアウト画面例（ダイワテクニカル）



レイアウト画面例（ダイワテクニカル）

エンタープライズ向けにとどまらず、ビデオコラボレーションプラットフォームの提供を計画しているサービスプロバイダーにも適しているという。

「一昨年発売した好評なクラウド会議サービス IPVideoTalk に加えて、当初から要望が強かったオンプレミス型のサーバーの発売に今回踏み切った。従来の多地点サーバー製品に比べ規模に応じて安価に導入できるのが強みだ。既存の入れ替えや新規などですでに引き合いも来ている。今後はユーザーからのフィードバックをもとに、性能向上や機能追加など積極的に行っていく考えだ。」（ダイワテクニカル）

ダイワテクニカルは、第 28 回 Japan IT Week【春】後期（5 月 8 日～10 日、東京ビックサイト）、Interop Tokyo 2019（6 月 12 日～14 日、幕張メッセ）に出展する予定。IPVT10 を含めた Grandstream 社製テレビ会議システムや IP 電話機などを紹介する。

■ IJ グローバルソリューションズ：クラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de! World」のアクセスポイントを英国に設置、日欧の「リージョン間接続オプション」提供開始

（4 月 22 日）

株式会社 IJ グローバルソリューションズ（<https://www.ijglobal.co.jp/>）（東京都千代田区）は、クラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de!

World (コラボ デ ワールド)」のアクセスポイントを英国に新設し、国際間の高品質なビデオ介護を可能にするサービスを6月1日より提供開始する。

新設されるサービス基盤では、IIJ Europe Limited (ロンドン) が提供するクラウドサービス「IIJ GIO EU サービス」上にMCU (多地点接続サーバ) を構築し、日本国内のクラウドMCUとIIJのバックボーンネットワークを介して相互接続することで、低遅延かつ安定した通話品質のビデオ会議環境を提供する。

IIJ グローバルでは、COLLABO de! World で英国アクセスポイントを利用するためのオプションメニューとして「リージョン間接続オプション」を、EMEA (欧州・中東・アフリカ) に拠点をもつ顧客向けに4月22日より販売開始する。また、IIJ Europe はCOLLABO de! World の欧州販売代理店として、「COLLABO de! World EU Service」のブランドで欧州の顧客向けに同日開始する。

国際間のビデオ会議においては「Office 365」の「Skype for Business」やビデオ会議端末を利用する企業が増えている。しかし、インターネット経由ではネットワーク遅延やパケットロスの影響を受け通話品質が低下する、国際専用線を利用するにはコスト負担が大きすぎるといった品質とコストが課題になっていた。

IIJ グローバルでは、そのような課題を解決すべく海外アクセスポイントを拡充していく予定で、第一弾として欧州に基盤を構築した。ユーザーは最寄りのCOLLABO de! Worldのアクセスポイントに接続することで、遅延やパケットロスを低減し通話品質を向上することが可能になる。なお、Skype for Businessとも連携でき、顧客とのアクセスポイント間の通信は閉域網による提供にも対応している。

2つのケースを想定した参考価格は以下の通り。

(1) 国内で利用中の仮想会議室に欧州側の端末2台が同時接続する場合 (国内の顧客向け) : 追加料金は、初期費用が40,000円、月額費用が25,600円となっている。

(2) 一つの仮想会議室に2台同時接続 (日欧間を横断せず英国側のアクセスポイントに接続) する場合 (欧州の顧客向け) : サービス利用料金は、初期費用が740ポンド (850ユーロ)、月額費用が500ポンド (600ユーロ)。

IIJ グローバルおよびIIJ Europeでは今後も、顧客の利用環境や用途に合わせたビデオ会議サービスを提供していくとしている。

■ポリグロットリンク: テレビ de 通訳、インドネシア語での対応開始 多言語ビデオ通訳サービスで、業界最多の13言語対応へ

(4月22日)

株式会社ポリグロットリンク (<https://polyglot-link.co.jp/>) (東京都豊島区) が提供する多言語ビデオ通訳サービス「テレビ de 通訳」は、4月1日より、インドネシア語での通訳サービスの提供を開始したと発表。

テレビ de 通訳は、外国語対応が必要な接客シーンで、タブレットやスマートフォンを通じて簡単に利用できる多言語ビデオ通訳サービス。来店客などと店舗・施設スタッフとの対話を、タブレットの画面越しに通訳オペレーターが対面で、リアルタイムに通訳するもの。

2011年のサービス開始以来、つながりやすさ、通訳品質の高さなど、信頼性の高い多言語ビデオサービスとして支持を広げ、外国語対応に課題を抱える自治体や医療機関・交通機関・携帯電話ショップなど、6,000スポットを超える団体・企業に導入されている。

従来の12言語 (英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・ベトナム語・ネパール語・フィリピン語・スペイン語・ヒンディー語・タイ語・フランス語・ロシア語) に、新たにインドネシア語が加わり、合計13の言語に対応する。

この対応により、ポリグロットリンクによると、日本における在留外国人および訪日外国人観光客の約

96%をカバーしていることになるという。また、昨年末に政府より発表のあった「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」が設置を推進する「多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮）」（全国約100カ所）の設置要件である11か国語をカバーする体制になったという。

ビジネス動向-国内

■ラック：TeamViewer ジャパンと協業し、仕事の進め方を変革する企業をリモート接続ソリューションで支援

（4月23日）

株式会社ラック (<https://www.lac.co.jp/>)（東京都千代田区）は、業務の効率化や働き方の多様化といった業務変革に取り組む企業に対し、セキュアで効果的なリモート接続ソリューションを活用した支援を行うため、TeamViewer ジャパン 株式会社 (<https://www.teamviewer.com/ja/>)（東京都千代田区、以下 チームビューワー）との包括的なパートナー契約を締結し、4月23日より協業を開始する。

社外からリモートで業務を行うテレワークを推進する企業が増える中、ラックに対して、情報の窃取やリモート接続ツールを悪用した企業内部への不正侵入だけでなく、社員が無許可でリモート接続ツールを導入してしまうなどの懸念から、利用統制のあり方の相談も増加しており、対策を模索していた。

そこで、同社は、世界ナンバーワンシェアのリモート接続ソリューション「TeamViewer（チームビューアー）」を提供するチームビューワーとパートナー契約を締結し、本製品を活用した企業の業務変革を強力に支援することにした。

TeamViewer は、リモート接続ソリューションにおいて、接続性・安全性・拡張性・管理性など技術的な優位性があり、遠隔機器の保守やシステム利用者のリモート、遠隔地で作業する方への遠隔指導に適した AR

（拡張現実技術）機能がある。加えて、Windows や macOS、Android、iOS など多種多様なデバイスをサポートしている。

両社は、包括的なパートナー契約に基づきエンタープライズ向けに販売する。その中で、リモートワークやヘルプデスク業務、リモートサポート業務など利用シーンに合わせた活用提案や、企業で利用するためのセキュリティコンサルティングおよび利用者への教育を提供していく考えだ。

チームビューワーは、2005年にドイツで創業。リモート接続ソリューションの世界最大手として事業展開しており、現在は、全世界で常時4,000万の接続を支援、欧州・アフリカ・中東ではトップシェアを占める。2018年に日本法人を設立し、日本国内におけるリモート接続ソリューションの普及を目指している。

ラックは、1986年にシステム開発事業で創業。多くの実績を誇る「金融系の基盤システム開発」をはじめ、社会の基盤システムの開発を行っている。1995年にはいち早く情報セキュリティ事業を開始し、現在ではサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、官公庁・企業・団体などに業界屈指のセキュリティ技術を駆使した、先端のITトータルソリューションサービスを提供している。

PR

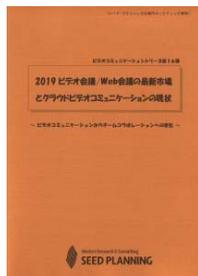
■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

■株式会社シード・プランニング



2019 ビデオ会議/Web 会議
クラウドビデオコミュニケーション
市場動向最新レポート発刊
3月21日 発売

<http://store.seedplanning.co.jp/item/10374.html>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（5月～6月）

「災害現場の今を共有出来ていますか？災害発生の混乱時、意思決定のスピードと質を向上」、ブイキューブ 東京オフィス見学ツアー、<スマートグラス体験セミナー>ハンズフリーで現場作業を遠隔支援！、「従来比 1/3 のコストで導入できる” V-CUBE Box 体験セミナー、など
会場：（東京・大阪・沖縄・Web セミナー）
詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■デモで知る！TeamViewer の企業向け機能

日時：5月17日（金）15:30～18:00
会場：新丸の内ビルディング 10F EGG JAPAN
主催：TeamViewer ジャパン株式会社
詳細・申込：<https://teamviewerjapan-20190517.peatix.com/>

■手軽にはじめられるテレビ会議・Web 会議システムのご紹介～RICOH UCS で、いつでも・どこでも、だれでも・だれとでも繋がります！～

日時：5月22日（水）13:15～16:30（受付：13:00～）
会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所
主催：リコージャパン株式会社
詳細・申込：
<https://www.rcc.ricohjapan.co.jp/event/seminar/19K099.html>

■働き方改革（ワークスタイル変革）実践事例セミナー～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる働き方改革～

日時：5月23日（木）14:00～16:00（受付：13:30～）
会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所
主催：リコージャパン株式会社
詳細・申込：
<https://www.rcc.ricoh-japan.co.jp/event/seminar/19K103.html>

■クラウドで Web 会議統合を実現する【BlueJeans イベント開催のご案内】

日時：5月30日（木）15:00～18:30
会場：パナソニック インフォメーションシステムズ
梅田オフィス
主催：BlueJeans Network Inc.、West UC ジャパン株式会社
パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社
詳細・申込：
<https://event.is-c.panasonic.co.jp/public/seminar/view/668>

<海外>

■UC EXPO Connecting Business

日時：5月15日～5月16日
会場：イギリス、ロンドン
主催：Imago Communications
詳細・申込：<http://www.ucexpo.co.uk/>

■Interop Las Vegas 19

日時：5月20日-5月23日
会場：アメリカ ネバダ州 ラスベガス
主催：United Business Media company
詳細・申込：<http://www.interop.com/>

■InfoComm 2019

日時：6月8日-6月14日
会場：アメリカ フロリダ州 オーランド
主催：InfoComm International
詳細・申込：<http://www.infocommshow.org/>

■AllThingsRTC

THE PREMIER RTC EVENT

日時：6月13日（木）

会場：Parc 55 San Francisco - a Hilton Hotel

主催：ALLTHINGSRTC.ORG

詳細・申込：<http://allthingsrtc.org/>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているのもあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2019年4月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp